

【「みどりのまなび 樹氷再生への歩み」プロジェクト】

山形県は日本一の規模を誇る天然ブナ林をはじめ、蔵王山や月山など、全国有数の山々を抱えています。山岳ツーリズムによる観光振興から防災林に代表される災害抑止機能まで、森林資源が果たす役割は大きく、本県の豊かな自然と触れあうことは郷土愛の醸成にもつながります。近年はSDGsの目標の一つ「陸の豊かさを守ろう」にあるように、世界的に自然保護の重要性が増しています。

本県では、樹氷となる蔵王山のアオモリトドマツが広範囲にわたって枯れ、大きな課題になっています。林野庁東北森林管理局山形森林管理署や山形県はその稚樹を実験的に移植してデータを収集する一方、種子を採取して試験栽培するなど、樹氷再生に向けて地道な取り組みを重ねています。

本プロジェクトでは、山形森林管理署と山形県、やまがた森林と緑の推進機構の協力を得て未来の古里の担い手である子供たちとその家族を対象に身近な森林資源の利活用や保全について体験を通して楽しく学んでもらいます。また、本紙紙面で連載企画等を展開して情報を発信し、古里の山や森の大切さについて多くの県民の理解を深めてもらいます。今年を樹氷再生に向けたキックオフの年と設定し、息の長い活動として取り組んでいきます。

【第1回やまがたの森 ファミリースクール】

7月31日の「夏の教室」では、蔵王ロープウェイで山頂まで登り、樹氷をつくり出すアオモリトドマツがとても深刻な状況にあることを学びました。そして山形森林管理署が取り組んでいる自生苗の実験移植の取り組みについて、森林管理署長の益田健太さんたちから説明を聞きました。冬の蔵王の名物コースとして知られるザング坂のトレッキングでは、標高の差によってアオモリトドマツの枯れ具合が違いうことに気づいたと思います。実際に足を運んで現状を目にした皆さんは、どのような思いを持ったのでしょうか。

「秋の教室」では、ユートピアグレンデ付近で皆さんが見つけた稚樹を実際に掘り取る作業をしていただきます。そして「夏の教室」で見学した地蔵山頂駅近くの林地に移植する体験をしてもらいます。

「秋の教室」の時期は、紅葉が美しい季節だそうです。皆さんにはぜひ、蔵王の紅葉も楽しんでいただきたいと思います。



山形新聞、山形放送8大事業

「みどりのまなび 樹氷再生への歩み」プロジェクト

第1回やまがたの森 ファミリースクール

～第6回「山の日」全国大会山形大会プレイベント～

秋の教室 (案) (09/10版)

開催日/「秋の教室」:2021年10月9日(土)

- 場所/山形市・蔵王山
- 主催/山形新聞、山形放送
- 協力/林野庁東北森林管理局山形森林管理署、山形県、やまがた森林と緑の推進機構



スケジュールや行程等は、変更の可能性がありますので
ご了承ください。

【夏の教室】 樹氷再生の第一歩は「見ること」「知ること」「考えること」。みどりのまなびがスタートしました。



【夏の教室】動画が見られますよ！

【秋の教室】 10月9日(土)

- 8:15 バス利用者受付開始(山形メディアタワー/山形市旅籠町 2-5-12)
- 8:40 バス出発(〃) ※現地集合も可
↓〈バス〉
- 9:30 ★開会式(蔵王ロープウェイ蔵王山麓駅前)
※雨天時:レストラン横倉
- 10:00 ロープウェイ乗車(山麓駅出発)
↓〈蔵王ロープウェイ山麓線〉
- 10:30 樹氷高原駅(1,331 ㍍)着
↓〈徒歩〉
- 10:35 ユートピア夏山リフト乗車(上り)
↓
- 10:50 ★アオモリトドマツ稚樹掘り取り作業
↓
- 11:50 ユートピア夏山リフト乗車(下り)
↓〈徒歩〉
- 12:00 昼食(レストランとどまつ周辺)
- 13:00 樹氷高原駅乗車
↓〈蔵王ロープウェイ山頂線〉
- 13:25 地蔵山頂駅(1,661 ㍍)着
★稚樹の実験移植体験
- 14:20 ★地蔵尊参拝、三宝荒神山紅葉観賞
(周回コース0.5キロ標高1,703 ㍍)
- 15:20 解散式 地蔵山頂駅出発
↓〈山頂線→山麓線〉
- 16:00 蔵王山麓駅着
↓〈バス〉
- 16:40 バス利用者は山形メディアタワー解散

※行程、スケジュールは変更の可能性があります。